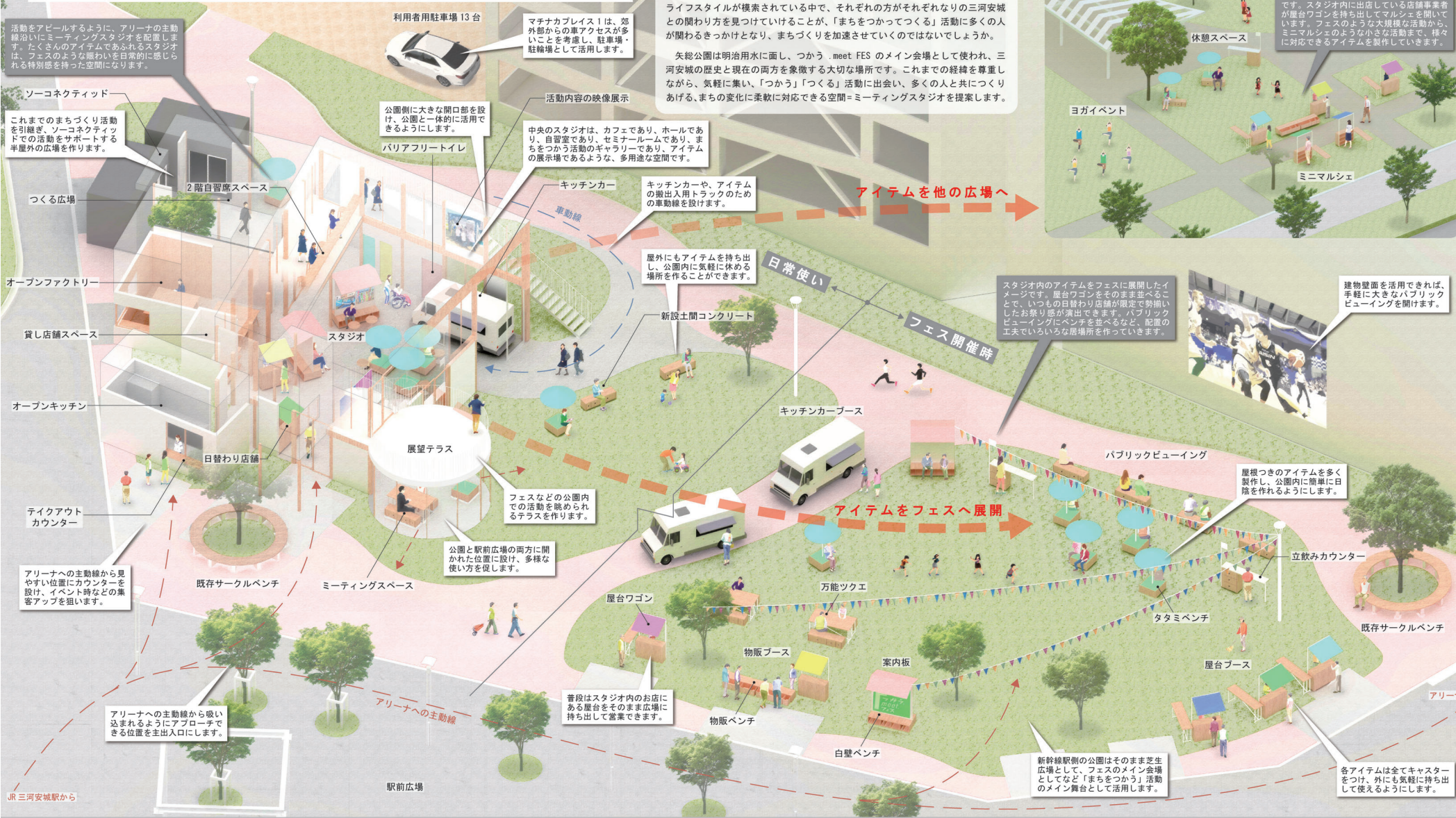


三河安城ミーティングスタジオ



② コンセプトとその設定理由

1 三河安城駅前に必要なもの

三河安城周辺は明治用水による治水を軸とした大規模な耕地整理を元を発展してきたまちです。そのため、まちなかに近しい豊かな農地が広がり、郊外にはゆったりとした敷地のハイセンスな店舗、デパートなどの豊かな公園、安城農林学校をはじめとした学校があります。こうした豊かな郊外とまちなかの関係を強めることに、新たな価値を生む可能性があると感じました。

また、オープンデータのアンケート結果から駅前に気軽に集える場が求められていることがわかります。スポーツやミニシアターといった新たな要素により、まちの格好も大きく変わっていくと予想されます。「まちをつかってくる」活動を進めるためには、こうした変化もポジティブに捉えていける、郊外を含む三河安城に関わるたくさんの人たちが、それぞれ異なる三河安城の関わり方を見つめられる、様々な関係性の結び目になる場所が必要なのではないでしょうか。したがって、以下の3つのコンセプトを持った空間を提案します。

- ・気軽に集い、様々な「つかう」と「つくる」に会える空間
- ・三河安城に関わるたくさんの人に支えられ、共につくる空間
- ・まちの変化に応じ、柔軟に対応できる可変性を備えた空間

このコンセプトを実現し、「まちをつかってくる」活動を支える拠点としての建物・ミーティングスタジオを提案します。

2 ミーティングスタジオ

ミーティングスタジオは、以下の3つの機能を持つ建物です。

- A 「集う」機能：日替わり店舗、自習スペース**
1階に日替わり店舗、2階に自習スペースを設け、学生も含め誰でも気軽に訪れられる空間にします。日替わり店舗は郊外店舗からメインとしつつ、チャレンジ事業者として新規開業や副業の方も入って回していきます。先駆事業者からアドバイスももらいながら運営していくことで、まちの新たな「稼ぎ手」育成につながります。
- B 「活動する」機能：オープンキッチン、オープンファクトリー**
キッチン・ファクトリーともに、時間利用とオープン利用の両方に対応し、「まちをつかってくる」活動の拠点としての役割を担います。
- C 「知る」機能：活動展示ギャラリー、アイテム展示場**
「まちをつかってくる」活動を展示し、ハーフメイドな「まちをつかってくる」アイテムの展示場として空間全体を設えることで、訪れた人がまちづくり活動に興味・関心を持つきっかけを提供します。

3 機能実装のイメージと説明

ミーティングスタジオは、スタジオ周囲を様々なボックスが取り囲む構成とします。モバイルによる機能実装を試しながら、アイテムのレイアウトで空間をつくっていくことで、利用者により「つかう」「つくる」活動を喚起する空間にします。全体を木造とし、ボックスをスタジオから構造上独立させて自由に増設できる可変性の高い建築になっています。

4 設置・運営に係る基本的な考え方・計画

3 「まちをつかってくる」を加速させるために

整備・運用を安定して進めていくために、3つの仕組みを提案します。

1. 公共出資・民間融資の合同会社による機動的な施設運営
施設運営を行う合同会社を市・民間の共同出資で設立します。金融機関からの融資と合わせて設立することで、市・民間の共同でリスクを分担しつつ、民間の機動性を活かしたまちづくり活動の加速を図ります。
2. 設計者が常駐し、アイテム製作も行う設計スタジオの設置
プロジェクト全体を整理し、設計業務を行いながら、アイテムを施設整備に先行して製作するまちづくりの拠点として、設計者が常駐する設計スタジオを三河安城駅周辺に設け、プロジェクトを推進していきます。
3. 試しながら少しずつつくっていく段階的な整備
整備を2期に分け、機能をモバイルによって試しながら整備していくことで、まちに必要な機能を見極め、確かなまちづくりにつなげます。

③ 機能実装のイメージと説明

1. スタジオ

中央の大きなホール、ボックス・モビルと連携し、アイテムの配置により様々な使い方をします。

2. ボックス

スタジオ周囲の個室。使い勝手に応じ、サイズ・仕上げを最適化した空間にします。

3. モバイル

キッチンカーやソーコネクティッドを用いて必要な機能の試験・可変的運用を行います。

4. アイテム

日常以外にも様々な使い方ができるアイテムを持ってきた家具たちで空間をつくります。外にも持ち出し、他の広場でも活用していきます。

2a. キッチンボックス

様々な店舗の個室、公園と一体利用などに活用します。

2b. ミーティングボックス

打合せや店舗の個室、公園と一体利用などに活用します。

2c. キッチンカー

スタジオ内に直接乗り入れ販売も可能。

2d. ソーコネクティッド

キッチンカーやソーコネクティッドを用いて必要な機能の試験・可変的運用を行います。

2e. ファクトリーボックス

様々な店舗の個室、公園と一体利用などに活用します。

2f. つくる広場

このまちをつかってくる活動の拠点としての役割を担います。

2g. トイレ・事務ボックス

パリアフリーとジェンダーレスに対応できる個室トイレ。

2h. キッチンカー

スタジオ内に直接乗り入れ販売も可能。

2i. ソーコネクティッド

キッチンカーやソーコネクティッドを用いて必要な機能の試験・可変的運用を行います。

2j. キッチンボックス

様々な店舗の個室、公園と一体利用などに活用します。

④ 設置・運営に係る基本的な考え方・計画

3 「まちをつかってくる」を加速させるために

整備・運用を安定して進めていくために、3つの仕組みを提案します。

1. 公共出資・民間融資の合同会社による機動的な施設運営

施設運営を行う合同会社を市・民間の共同出資で設立します。金融機関からの融資と合わせて設立することで、市・民間の共同でリスクを分担しつつ、民間の機動性を活かしたまちづくり活動の加速を図ります。

2. 設計者が常駐し、アイテム製作も行う設計スタジオの設置

プロジェクト全体を整理し、設計業務を行いながら、アイテムを施設整備に先行して製作するまちづくりの拠点として、設計者が常駐する設計スタジオを三河安城駅周辺に設け、プロジェクトを推進していきます。

3. 試しながら少しずつつくっていく段階的な整備

整備を2期に分け、機能をモバイルによって試しながら整備していくことで、まちに必要な機能を見極め、確かなまちづくりにつなげます。

■ 整備・運用体制案

店舗事業者 先駆事業者 アドバイス チャレンジ事業者

三河安城ミーティングスタジオ

1. 「集う」：日替わり店舗 自習スペース

2. 「活動する」：オープンキッチン オープンファクトリー

3. 「知る」：活動展示ギャラリー アイテム展示場

運営者：合同会社 ミーティングスタジオ

設立サポート 民都機構 金融機関

スタジオ運営会議 出資 安城市

運営者：合同会社 ミーティングスタジオ

まちづくりアドバイザー

施設利用者 学生 来街者 興味・関心 やってみたい

活動者 つかう活動者 つくる活動者

サイクル① まちの稼ぎ手を広げる

サイクル② まちの担い手を広げる

サイクル③ より高次の活動につなげる

3回のワークショップを行い、スタジオの構成要素を地域の方々と一緒に考えていきます。

運用開始

運用開始

運用開始

■ 構造計画

スタジオ屋根

屋根材：杉集成材 W150×H500

壁・端壁：杉集成材 W210×H500

柱：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

一般部材：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

壁・端壁：杉集成材 W210×H500

柱：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

一般部材：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

壁・端壁：杉集成材 W210×H500

柱：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

一般部材：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

壁・端壁：杉集成材 W210×H500

柱：杉集成材 W150×D210

小梁：杉材 W120×H150~270

耐風壁：杉集成材 W210×H120

一般部材：杉集成材 W150×D210

■ 設備スケジュール案

3M 全体枠組 整理・調整

GM 市・民間出資 交渉・調整

GM 運用体制検討

GM フェス 計画発表

GM 設計者常駐・アイテム製作・打合せスペース開放

GM WS準備・基本計画1期基本・実施設計

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

GM 1期工事

GM 2期工事

GM 3期工事

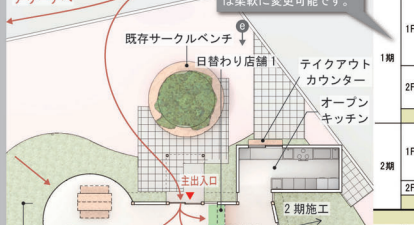
GM 1期工事

■ 面積表

階	用途	面積 (㎡)	
1F	スタジオ	103.1	
	ミーティングルーム	17.1	
	オープンキッチン	14.0	
	トイレ・事務スペース	13.4	
	1F合計	147.6	
	2F	自習スペース	34.9
		リモートワークスペース1	4.6
		2F合計	39.5
		合計	187.1
	1期・2期合計	展示スペース	4.1
オープンファクトリー		23.9	
つくる広場		32.6	
合計		60.6	
2期	1F合計	60.6	
	2F合計	4.1	
2期合計	64.7		
1期・2期合計	251.8		

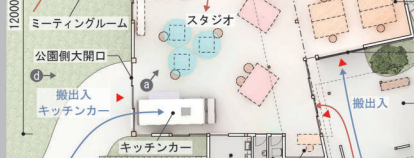
■ 1階平面図 S=1/200

※2期工事後



■ 2階平面図 S=1/200

※2期工事後



■ 面積表

階	用途	面積 (㎡)	
1F	スタジオ	103.1	
	ミーティングルーム	17.1	
	オープンキッチン	14.0	
	トイレ・事務スペース	13.4	
	1F合計	147.6	
	2F	自習スペース	34.9
		リモートワークスペース1	4.6
		2F合計	39.5
		合計	187.1
	1期・2期合計	展示スペース	4.1
オープンファクトリー		23.9	
つくる広場		32.6	
合計		60.6	
2期	1F合計	60.6	
	2F合計	4.1	
2期合計	64.7		
1期・2期合計	251.8		

■ 1階平面図 S=1/200

※2期工事後



■ 2階平面図 S=1/200

※2期工事後

